



道  
守

みちもり

MICHIMORI  
TSUSHIN

通信

vol.31 秋号



巻頭インタビュー

根付いた道路サポーター制度  
行政、市民のコラボこそ大切  
北橋健治(北九州市長)

みちづくし in 鹿児島 2016

「西郷どん」の名湯、ツル、  
世界遺産の「尚古集成館」

道守九州会議交流会

躍道 ～地方の輝き創り 道守ネットワーク～

熊本地震 インタビュー

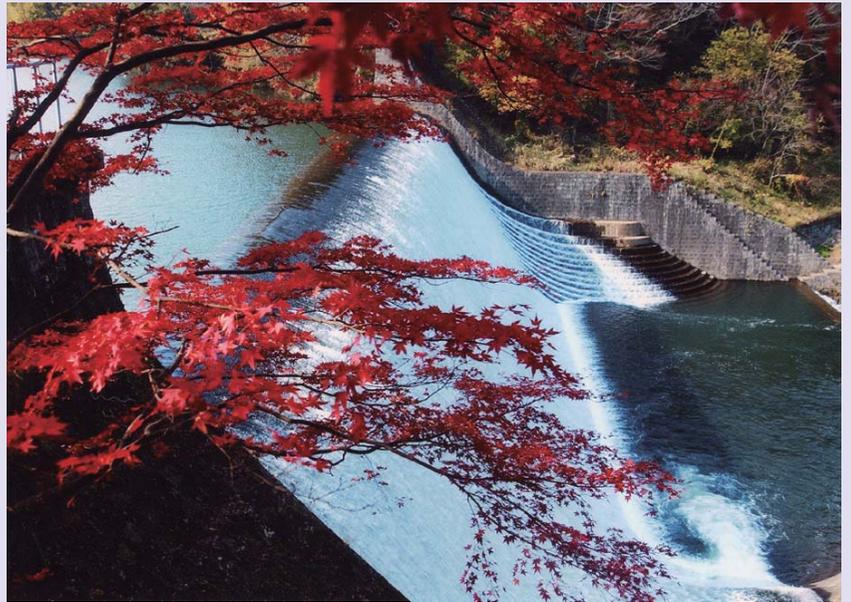
「暮らしの道 復旧へ全力」

古代から、道は人々の共有財産であつた。力を合わせ道普請し、守ってきた。道は街を作り、産業を興し、文化を選び、人々を結びつけた。つい、この間まで、子どもたちがキャッチボールし、縄跳びなどで、明るい歓声が響いていた。お年寄り、縁台で将棋をさし、ほうきで道を掃き、水を撒くお母さんの姿もあつた。そんな「日本の原風景」は何処へ行ったのだろうか。

確かに、高速道路やバイパスなど、道は整備され、日本の高度経済成長を支え、豊かな暮らしをもたらした。しかし、多発する事故、渋滞、大気汚染、騒音。何より、車優先社会は、人々の心を道から遠ざけてしまった。自宅前のごみや雑草さえ知らん顔。それどころか、空き缶のポイ捨て、家庭ごみの投げ捨てが日常的な風景になってしまった。

そんな現状に、心を痛め、清掃や花壇作り、植樹に取り組む人々が増えていく。行政まかせから、「道はみんなの財産」という意識と行動。新しい「公」への動きが芽を出しているのだ。行政と住民が手を携え「協働」で道を守るという新しい意識の潮流。そこから生まれた九州各地の活動が、合流し、大きな流れになってゆく。「道守九州会議」の誕生だ。

道守。その由来は遠く万葉の昔にさかのぼる。道を守り、守り、旅人の飢えと渴きを癒す果樹を沿道に植えたという。現代の道守は住民と行政が協働し「道と人の新しい縁」を紡ぐ。さあ、新しい道に一步踏み出そう。



白水ダム

CONTENTS

- 01 巻頭インタビュー  
根付いた道路サポーター制度  
行政、市民のコラボこそ大切  
北橋健治（北九州市長）
- 02 みちづくし in 鹿児島 2016  
「西郷どん」の名湯、ツル、世界遺産の「尚古集成館」
- 04 道守九州会議交流会  
躍道 ～地方の輝き創り 道守ネットワーク～
- 06 各県道守会議からのメッセージ
- 08 わたしの好きな道  
小さな歴史探訪路  
～「龍馬ブーツ」をはいて、元気をもらおう～  
椎木恭二
- 09 私たちの道守活動
- 12 風景街道  
別府湾岸・東半島 海への道
- 14 海外道事情 大韓民国  
ソウル駅高架が「歩く道」として再生へ  
「ソウル駅7017プロジェクト」  
柳 基憲
- 15 熊本地震「暮らしの道 復旧へ全力」  
手島健司(熊本県土木部長) インタビュー
- 16 連携・共同で活動推進  
道路協力団体制度の創設
- 15 道守人物伝・道守たちのトピックス・編集後記

表紙画：久富 正美  
1935年福岡県生まれ。「小さい旗」同人。グループ「五架会」会員。

# 巻頭 インタビュー 北橋健治

（北九州市長）

11月に九州の道守会議を行うんですが、市民団体の多くが行政とタッグを組む方法を色々悩んでいる中、北九州道路サポーター制度では、行政と市民団体が一体的に活動出来ているのは何故でしょうか。北橋市長 北九州の道路サポーター制度は、平成17年度に12団体の参加で創設しました。昨年度に10周年を迎え、今では、222団体で登録し、約1,300人が参加する大



きなパワーになっています。市では、①清掃用具や花苗の支給、②団体の活動PR看板の設置、③水やりのための散水栓の設置、④夏場4ヶ月間の水道料金の一部補助などの応援を行っています。この制度により、いかに市民の意識を向上し、裾野を広げることが大切です。皆、少なからず美しい街並みへの愛着や、環境を大切にすることを抱いているはずで、北九州市民の環境力、ボランティアスピリットが、街づくりに結びついたもので、一緒にコラボしてきた行政としても非常にありがたい市民活動です。何か参考にした制度があるのですか？

北橋市長 海外に出張する道、空港から目的地まで必ず道路を通ります。「道路」が、どのようにマネジメントされているかということ、その国のシンボリックなものとして社会習慣というものごとでも身近に伝わってきて、沿道景観の果たす役割は非常に大きいものと感じています。最近、本市では、海外から多くの方が来られており、「1000m歩いてみただけでゴミが落ちていない」「川がキレイ」、「みんなが集まるところがキレイ」など褒めていただいています。我々は、食べ物美味しいな

どの感想をいただくと考えていたが、笑)。これまでも、多くの方が公園や河川の愛護会に参加されていて、早朝に行ってみると、皆さんが所懸命に活動している、本当に頭が下がっているんです。世のため、人のため、それでいて自分自身にとっても仲間がたくさんできて健康にも良く、さわやかな時間を体感できる。そのような意識の高い活動によって、自分たちが生活インフラを整えていくという自信を持つことになり、着実に広がっていったのが、道路サポーター制度だったと思います。――どの行政も「市民と一緒に」というのが難しいようです。市民の側も何かあれば行政にクレームを言う、行政側も壁を作り身構える。住民、ボランティアとの協働を進める上で行政が心がけるべき事は何だと――。

北橋市長 一つ工夫したことがあります。活動団体の増加に伴い、制度を改善し、平成25年度に「道路サポーターの会」を作りました。活動団体同士が自主的に話し合い、支援内容などの仕組みを提案できるというものをあげることが大事で、活動団体が集まり、情報交換を行う場を設けました。本市は7区あるので、各区分を作ったところ、いもっと、という用具を充実して欲しい、「支援要件についても緩和して欲しい」など、具体的な提案が出てくるようになったのです。活動団体が「仲間」意識を強めた結果、意見が市の政策に確実に反映されるようになり、また、他の団体がどのように頑張っているかや、自分の所だけが悩んでいる訳ではないということが分かるようになってきたそうです。そういう自由闊達な活動を尊重するというのが行政として心がけたことです。――市長は前線の行政マンに対して、市民団体とのつきあい方や心構えなどどのようなことを伝えているのですか。行政マンとしての姿勢あり方など。

北橋市長 年頭のあいさつなどにおいて、職員には、地域の自主的な活動に時間の許す限り積極的に入って行くように呼びかけています。北九州市には、自治会活動があり、そこでは、住民に身近な防犯・防災や地域の子ども・高齢者の見守りなどのテーマがあります。なかでも環境美化は大きいテーマであり、ゴミ出しをした後をキレイにするなどの活動も自治会が軸になって動いています。しかし、人口がどんどん減っているのが現状で、地域住民のコミュニケーションがだんだん弱くなってきています。そのため、行政マンとしても、そういった場を大切にしようとしていけるのです。自治会に入るかどうか

プロフィール  
昭和28年3月19日生まれ。東京大学法学部卒業。昭和61年に衆議院議員初当選。平成19年より北九州市長就任（現在3期目）。



11月25日、「みちづくし in 鹿児島」が薩摩川内市で開催されます。鹿児島県北薩摩の魅力堪能してください

# 「西郷どん」の名湯、ツル、世界遺産の「尚古集成館」

今回みちづくしが開催される鹿児島県では、NHKが制作発表した2018年大河ドラマ「西郷どん(せごん)」の話題で盛り上がりつつあります。2018(平成30)年は、明治維新150年の年でもあり、地域も期待が高まっているところですよ。



川内大綱引

## ■薩摩川内市

薩摩川内市は、薩摩半島の北西部に位置し、市街地の中央を九州三天河川の一つ、川内川が貫流する本土地域と、東シナ海に浮かぶ上甕島・中甕島・下甕島からなる甕島地域とで構成されます。本土地域では西側を国道3号が縦断し、中央部を主要地方道川内加治木線が横断しています。甕島では一般県道が甕島縦貫道を形成しています。これらの道路が平成27年8月に九州で14番目となる「薩摩よりみち風景街道」として登録されています。風景街道の沿線には平成26年12月に入来麓武家屋敷群内にある旧増田家住宅が国の重要文化財に、平成27年3月に甕島の代表的な景勝地である「長目の浜」が国の天然記念物に、同じく3月に甕島が国定公園に指定され、明るいニュースや話題が相次いでいます。

また、平成23年3月の九州新幹線全線開業に伴い、大阪から本市まで約3時間50分、博多から本市まで約1時間12分で結ばれています。

主な行事・名所・イベントとしては、四百年を越える歴史を持つ「川内大綱引」が元発祥の地とされる大宮神社に奉納される「入来神舞」、伝統行事として古くから伝わる下甕島地域の「トシドン」などが有名です。東郷地域の藤川天神は、「臥竜梅」の名所として知られ、国の天然記念物に指定されています。樋脇地域の「市比野温泉」は四百年もの昔から湧き出る、美人湯として名高い温泉です。川内地域の「川内高城温泉」は、薩摩藩主や西郷隆盛も逗留し、日本名湯百選にも選ばれ、九州でも有数の温泉地です。川内高城温泉の近くには「人形岩」があり、サンセット時には見事な風景を見せてくれます。

甕島には、上甕島の「トンボロ」や「長目の浜」、下甕島の「ナポレオン岩」、変化に富んだ断崖や奇岩が数多く点在する日本の地質百選に認定された「鹿島断崖」など、美しい自然が広がります。夏になると甕島原産の「カノコユリ」が一面に咲き誇り、一年中で最も美しい季節を迎えます。加えて、観光



長目の浜展望所



人形岩から見る夕日

## いあちゅう

九州各県の道守会員による交流会議「みちづくし in 鹿児島2016」の薩摩川内市での開催を心からお祝い申し上げます。今年も、九州三天河川の川内川をはじめ様々な自然や温泉などを有している本市での開催ということで大変意義のある大会になるかと考えております。

本市内にも道守会員がいらっしやいます。ポランテア活動、地域の皆さまが楽しみにしている取組もあり、感謝申し上げます。道守活動が道の駅、風景街道と連携して地域の活性化、観光振興につながる効果があるを期待しておりますので今回の交流会で活発な意見が出されることを祈念し、挨拶に代えさせていただきます。



薩摩川内市長 岩切秀雄

# 『よひつらつかんせ』鹿児島みどころ

## ■尚古集成館・仙巖園 (鹿児島市)

「尚古集成館」は、開明藩主島津斉彬が造った日本初の近代工場群集です。1865年(慶応元)に建てられた本館は、国の重要文化財に指定され、島津家に関する史料、薩摩切子や薩摩焼などが展示されています。

2015年に「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」を構成する「旧集成館」機械工場として世界遺産に登録されました。

隣接する「仙巖園(磯庭園)」は、一六五八年に島津家の別邸として造られた庭園。雄大な桜島と錦江湾をそれぞれ築山と池に見立てた壮大なスケールの借景が優雅で、「天下の名園」といわれ、国の名勝にも指定されています。

## ■出水ツル渡来地(出水市)

「出水ツル渡来地」は、鹿児島県北西部出水平野の水田地帯にあり、毎年十

月中旬頃から翌三月頃にかけて約一万羽のツルが越冬することで知られています。鹿児島県出水市内の2453ヘクタールが「鹿児島県のツルおよびその渡来地」として国の特別天然記念物に指定されています。

「出水ツル観察センター」は十一月一日から翌年三月第四日曜日までの間オープンし、ツルの舞や生態を見ることが出来ます。

## ■かのやばら園(鹿屋市)

「かのやばら園」は、大隅半島にある霧島ヶ丘公園の東側丘陵地にあり、8ヘクタールの広大な敷地に約5万株が植えられた日本最大級のばら園です。園内にはテーマごとに様々な種類のバラが植えられており、鹿屋オリジナルのバラをはじめ春・秋のシーズンには、たくさんさんのバラが園内に咲き誇ります。

春と秋には「ばら祭り」も開催され多くの人でにぎわいます。



かのやばら園



出水ツル渡来地



世界遺産の尚古集成館

# 躍道

## 地方の輝き創り 道守ネットワーク

鹿児島県薩摩川内市で、11月25日(金)～26日(土)に、道守九州会議交流会「みちづくしin鹿児島2016」が開催されます。

鹿児島県では、2008年に続き2回目の開催。2008年は鹿児島市内で開催しましたが、今回は鹿児島県の北薩地域である薩摩川内市を、おもてなしの場所とさせていただきます。

### 交流会テーマは「躍道」

交流会のテーマは、躍道(やくどう)地方の輝き創り、道守ネットワーク

「躍道」に込めた思いは、道守の基本理念であるネットワークを大事にしていくことはこれからも変わらないことと、そのネットワークを続けつなげてきたことの成果が道守活動の広がりとなって、更なる人とのつながりへと拡大してきたことを改めて思い直そう、との気持ちを含めました。

道守会員はそれぞれの地元、地域で

人とのつながりを大事にしながら活動してきており、それは地域で暮らす人環境、生活が輝く地方へつながっていると改めて思っています。

道守活動を通じて道守会員同士が、地方が、行政など関係機関が連携し、



鹿屋市 国道220号線沿い

よりよい地方・地域になっているのではないのでしょうか。道守活動が、よくどう、するという音にあわせて動を道に交えてイメージしました。

### 「九州は一つ」を合い言葉に

今年四月に熊本、大分を震源とする大地震が発生し、多数の方が死傷され、多くの方の生活の安心・安全を奪われ、不安と動揺を募らせました。

しかし、「九州は一つ」という合い言葉が以前から言われている通り、大災害においてもその力を発揮しています。助け合い、共助の精神でだんだんと笑顔が増えた事は地道な道守活動にも共通するものがあります。

### 交流会と討論

薩摩川内市で迎える交流会では、第1部に九州各県で道守活動を行っておられる会員の道守活動報告を設けています。

九州7県の道守会員が日頃どのよう



始良市立加治木小学校

に活動し、また、どのような目的をもって活動されているのか、じっくりと聞く良い時間と思われれます。

2部では、パネルディスカッションを設定しました。道守活動においては、各団体・行政・地域が連携することでより有意義な内容となることが期待されます。議論を深め、明日への提案をいただきたいと思います。鹿児島では、昨年14番目の登録となった「薩摩よりみち風景街道」もあり、道守や道の駅、そ

### 現地体験学習会

2日目の現地体験学習会は2コースをご用意しました。

・Aコース：武家屋敷・戦国村(SAMURAI)コース

・Bコース：西海岸(薩摩よりみち風景街道)コース

両コースとも風情のあるコースで、ゆっくりと晩秋の薩摩路をお楽しみ下さい。



薩摩川内市 国道328号線沿いの花壇づくり

## Aコース 武家屋敷・戦国村(SAMURAI)コース



入来麓武家屋敷群

川内戦国村

Aコースでは鹿児島県の中でも三大武家屋敷群(知覧・出水・入来)の一つとして有名な『入来麓武家屋敷群』を散策するコースです。ボランティアガイドと共に風情豊かな町並み散策を楽しみましょう。

『川内戦国村』は広さ1000坪の枯山水の本格庭園があり、映画や大河ドラマなどに使われている甲冑(鎧・兜)の展示やその製造行程も見ることができます。また、薩摩の英雄、西郷隆盛の動乱をジオラマで再現した西郷記念館などお楽しみ下さい。

## Bコース 西海岸(薩摩よりみち風景街道)コース



絶景・海と人形岩

日本名湯百選・川内高城温泉

Bコースでは昨年度、鹿児島県で2番目に登録された「薩摩よりみち風景街道」のコースを巡ります。国道3号沿いの西方海岸にある奇岩『人形岩』は、川内随一の絶景です。『川内高城温泉』は800年余の古い歴史を誇り、鹿児島県最古の温泉とも言われます。西郷隆盛も愛用した、ひなびた人情味あふれる温泉郷です。日本の名湯百選の一つともなっています。

## 霜月 日帰りの旅 ～薩摩街道出水筋を往く～

体験学習会コースに加え『薩摩よりみち風景街道』のコースがあります。「日本風景街道」九州ルートの14番目のルートとして登録された「薩摩よりみち風景街道」を薩摩川内～阿久根～出水と北上するコースです。

この旅は、ツル観察センター、みかん狩り、出水ご当地グルメ等が楽しめ、北薩の情緒と風情を堪能でき、時間を忘れる北薩の旅となっています。



出水のツル見学

温州みかん狩り

道守ふくおか会議

花植えて、人・まちづくりとおもてなし
はかた夢松原の会は松の植樹を始めて
来年で30年。博多湾沿岸に緑の帯を形成
した松原は、今では市民の憩いの場、玄
海灘風景街道の景勝地の一つです。

道守に参加した11年前は放置自転車対
策に取り組み、5年前から国道道路で年
2回の花植え活動を始めました。現在で
は放置自転車が減り、ごみはゼロになり
ました。

活動メンバーは、私たち会員と大学生、
地域のボランティアです。大学生は花壇の
デザイン、土の管理、花の植え込みを担
当し、散水は沿道店舗や地域住民にお願
いし、花壇の維持管理は月2〜3回、会員
と地域ボランティアで実施しています。毎
年花植え作業
が先輩から後
輩へと引き継
がれる中、学
生の成長して
いく姿を目的
の当りにし、
私たちが大人が
お手伝いしな
がら応援して
います。



花植え活動

花植え活動が地域住民や沿道店舗をつ
なく役割を担い、地域の中でコミュニティ
が創られ、また、季節の花で彩られた快
適な景観で訪れる皆さんをおもてなしで
きる事が誇りです。
(はかた夢松原の会 理事長 磯谷慶子)

道守佐賀会議

活動を掘り起こして更なる10年へ

「道守佐賀会議」発足以来、道路の現場
見学、花植え、清掃などを通して道守活
動の拡大を図ってきました。特に「佐賀
城下ひなまつり」、「さが桜マラソン」の
おもてなし清掃は参加者も多く、定着し
ている取り組みで、今後も継続していこ
うと思っています。

更なる10年を見据えて、新たな取り組
みを模索する中、「花プロジェクト」と各
付け、長期的な活動を始めようとするの
総会で取り決めました。

「花プロジェクト」は、ボランティア団
体が花植えや清掃などを行っている路線を
選定し、季節感の演出できる樹木などを
植樹し、道路本来の目的でもありながら
十分確保できていない「快適性」や「地
域の顔」といった視点での維持管理の一
助とし、そこを通過する方への安らぎの
提供、プロジェクトに取り組み団体、地
域のPRをしようというものです。



花プロジェクトの活動

プロジェクトの実現
に向けて
は、場所の
選定、協力
団体の掘起
し、植樹計
画、植樹後
の維持管理
など、様々
な準備が必
要ですが、

道守大分会議

三つの輪・道守・日本風景街道道の駅

5年後、10年後の未来に、私たちはど
んな社会を目指すのか。
私たちができることは「心のタスキ」
を繋ぎ、未来への希望である子どもたち
に受け渡すことではないでしょうか。

「道」を通じ、地域づくりに貢献してい
る三者ですが、これまでは活動目的が微
妙に異なり、情報交換もあまりなく、お
互いの利点を協働し利用できていない現
状があります。
大分では三者をよく知ろうということ
で、今年3月にアンパンとティーを飲み
ながら「ティーパーティー・3つの輪」と
いうシンポジウムを開催し、その中で3
者連携事業として『2020年東京パラ
リンピック』に向け、子ども用の車いす
を寄付する募金活動を行うことを決めま
した。

大分は、日本初の障がい者施設「太陽
の家」の生みの親であり、前回の東京バ
ラの日本選手団長であった故中村博士を
生んだ土地柄です。大分国際車いすマラ
ソンは、別大国道で毎年盛大に開催され
ます。まさに私たち活動「道」のフィー
ルドなのです。
障害や体の大きさに応じた専用車いす
は練習用でも特殊車両のため、高額です。
障がいのある子どもたちが、世界のトップ
アスリートを目指すという大きな夢の
お手伝いをしたいと考えました。
私たちの持つ強みを三者少しずつ寄せ
合い子どもたちの大きな夢に挑戦できる

環境が整うことを願います。「道」を通
じて活動する三つの輪が重なる部分には
「未来への希望」へ続く扉があると信じま
す。
(別府湾岸・国東半島海への道 推進協
議会事務局 加藤千明)

道守みやざき会議

宮崎の宝を私達の手で

「自分達の地域は自分達が守る」「やれ
ることからやる」を合言葉に平成15年4
月鶴戸山をかつとしやる協議会を会員25
人で発足した。国道220号沿い、鶴戸
神宮の鎮座している鶴戸地域で自然を生
かしたふるさとづくりの活動をしている。
【活動の内容】
1. 御手洗川等浄化整備事業（ホテルの
星づくり）
2. 鶴戸山を見て歩く会整備事業
3. 花と緑のまちづくり事業（ツマベニ
チョウの里づくり、山桜の植栽と管理、
花壇・プランターによる花いっぱい運動）
4. シンガポールとの交流会
国土交通省 ボランティアサポートプ
ログラム
日南海岸地域シーニックバイウェイ推
進協議会加入
道守みやざき会議加入
日南市ボランティア連絡会加入

日南海岸は国道220号、いわゆる日
南海岸ロードパークといい、昭和30年6
月1日国定公園に指定を受け、今年61年
を迎えることができました。国道220号新

この「花プロジェクト」の実践（写真）
を通して、佐賀会議の目標である道守の
心を育て、道が楽しめる場所であり、つ
なかりの道であることを次の世代に伝え
ていける更なる10年にしていきたいと思
います。
(道守佐賀会議)

道守長崎会議

祭りの前に！

長崎地区では長崎市を代表する祭りの
前に花植え活動を行っております。
9月に開催された「長崎居留地まつり」
では市道にある花壇に花を植えました。
この花壇は長崎市の所有なのですが維持
管理の問題から放置されていたものです。
祭りには多くの人がこの地域を訪れます。
少しでも気持ちよく来て頂きたいと思い、
長崎市に花壇を使わせてほしいと交渉し
ました。水やり等の管理を近くのお店に
話したところ、きれいにしてくれるな
ら水やり等して頂けることになり、花植
えが出来ました。

10月に開催された「長崎くんち」では
毎年、花植えを行っております。祭りの
舞台である諏訪神社前が国道34号の交差
点になっていますが、植栽帯に雑草が伸
び放題で荒れていました。ここを除草し
花を植えています。
祭りには県内外からたくさんの方々が
訪れます。少しでも良い思い出づくりの
手伝いになれば幸いです。
(道守長崎会議事務局)



鶴戸山をかつとしやる協議会の皆さん

鶴戸トンネル付近では、2月下旬にピン
クの山桜が見られる。また、国道や市道
沿いに四季の花を植えたプランターを設
置しており、地域住民はもとより、観光
客も楽しんでる。まさに「おもてな
し」。会員や地域住民の交流も活発になっ
た。61周年を機に関係者1人1人が改め
て、観光の再生に、情熱を持って働いて
ほしい。延々と続く美しい海岸は他にみ
られない宮崎県の財産である。協議会
(鶴戸山をかつとしやる協議会 長友
治)

道守かごしま会議

「道守が創る地方の輝き」

2016年の道守かごしま会議のテー
マは「躍道」です。

今年の干支は丙申、これまでの頑張り
が形に成っていき年であるということか
ら、今まで成しえたもの(道守ネットワー

道守くまもと会議

熊本地震からの復興をめざして

2016年4月、それまで大きな地震
はないといわれてきた熊本を震度7強の
激しい揺れが襲いました。見るも無残な
姿となった風景、ひっきりなしに続く余
震に不安な日々を送る人々…。何から
手を付けていいかわからぬ無力感が熊本
を重く覆い尽くしました。



被災前のトロッコ列車

地震によ
る土砂災害
で、線路が
流失するな
どの被害が
出た南阿蘇
鉄道は全線
運行見合わ
せとなりま
した。同じ
第3セクター肥薩おれんじ鉄道の八代駅
長を11年務めてきた私は、「鉄道や駅は地
域のシンボル。復旧すれば地域も元気に
なる」と、南阿蘇鉄道の社員や店主さん
に参加をよびかけ、沿線のグルメやグッズ
を集めた「トロッコマルシェ」等さま
ざまなイベントを企画させていただきました。
ことになりました。おかげで、7月末には
部分運転再開。まだまだ全線再開の見通
しは立っていませんが、道に携わる仲間
で協力し合い、熊本復興の一助になるよ
うがんばっていききたいと思っています。
(火の国未来づくりネットワーク 八代
ブロック NPO法人ネット八代 理事
長 岡田敏代)

国は「地方創生」を打ち出しました。
道守活動は地域の魅力を創り、「ひと」ま
ちが輝く地域づくり」に向けて、地域資
源の活用と道守連携による地域の活性化
に欠くことの出来ない存在になってしま
した。
今あらゆるところで、連携、協力、協
働が求められています。
個人の力には限界がありますが、より
良く力を合わせる事で、可能性は大きく
広がっていきます。しかも、世の中のす
べての事は繋がりが影響し合っています。
共に豊かな地域社会を創っていくため
にも、もっと道守ネットワークを密にし、
お互いを知り合い、同志の相互理解の時
間、とりわけ「みちづくり交流会」を行
うことの意義は深いと考えます。

人の交流は確実に地域に活力を与えま
す。人が繋がって動くネットワークは、
それぞれお互いの立場を尊重し、協働し
合い、実行して行くことが必要で、その
根底に人の心があります。私たち道守が、
それぞれの地域で、関係者と緊密に連携
しながら地域の将来をデザインし、地方
創生の一助を担い「きらりと輝く九州」
を拓いていこうではありませんか。

(道守かごしま会議 代表世話人 田
島直美)



花植え活動(国道220号)



清掃・花植え活動(国道58号照国神社前)



道守かごしま座談会(H28.1.28開催)  
(H28みちづくしに向けて)

# 私たちの道守活動

道に出て、道を見つめ、道の問題と向き合う。それは私たち自身の未来を考えること。歩いて楽しく、暮らして楽しい地域づくりのために、九州各地の道守会員が取り組むスタイルやアイデアなどもさまざまな活動を紹介いたします。

## 鹿児島 地域の報告 道守かごしま会議

個人約5,000名の参加となっており、その組織は年々拡大しています。

平成16年7月に発足した「道守かごしま」は、当初は12団体約40名の参加でした。

### 未来へつなぐ道守活動

「道守かごしま」としての全体的な多様です。

「道守かごしま座談会」は、平成18年から現在まで継続して行っており、膝を付け合わせて語り合うことにより「道守ネットワーク」の拡大になっていきます。ワークショップや意見交換会を通して、それぞれの団体の活動内容等を披露し、良いところは取り入れ、活動の幅を広げてい

### 「道守かごしま座談会」

活動は、「道守かごしま座談会」や「道路ふれあい月間」の道路美化清掃等を行っています。

これから先も地元のため、地域のため「道守かごしま」活動を行い、未来の子どもたちへつなぐことが我々の使命であると考えており、今できることを仲間と一緒に精一杯やっています。



道守かごしま会議ピブス

### 「ピブスの製作」

平成24年度に協賛企業の協力により「道守かごしま会議」の「ピブス」を製作しました。各団体に配布し、各団体が道路美化清掃活動やボランティア活動を行う際に着用して、団体の一体感の醸成や安全の確保、また「道守」のPRに役立っています。

## 歴史を感じながら清掃

### 株式会社 萩原技研

## 鹿児島



2018年のNHK大河ドラマ「西郷どん」(せごどん)になると聞きました。幕末から明治にかけて、ここ鹿児島から多くの偉人を輩出しました。私たちが清掃ボランティア活動を行っている鹿児島市山下町には数多くの史跡があります。有名なもので「私学校跡」「鶴丸城跡」「西郷銅像」などがあり、西南戦争時に付いたといわれる私学校跡の石垣に残る無数の銃弾痕などは、歴史を感じさせてくれます。また、鶴丸城跡地に植えられている桜や、西郷銅像に植えられているモミジなどを見るたびに四季の移ろいを感じることがあります。

四季折々の季節を感じながらボランティア活動を楽しみ、一カ月に一回、一時間弱の機会ではあります。一緒に仕事をすることの少ない仲間との課外交流もこのときにでき、本当にいい機会を与えてもらっていると感じます。たまに小雨が降り活動中止の判断に迷うこともありますがそれをもまた、空を見上げるいい機会と捉えてこの活動を楽しんでいます。



清掃後の集合写真



私学校跡での清掃活動



龍馬のブーツ。龍馬のように「日本の未来」を考えよう



若宮稲荷神社の龍馬像



若宮稲荷神社の参道



龍馬の商家、亀山社中の跡と記念館



若宮稲荷神社の竹ン芸

# わたしの好きな道

## 小さな歴史探訪路

～「龍馬ブーツ」をはいて、元気をもらおう～

長崎には、長崎街道や風景街道「ながさきサンセットロード」など「道守通信」の読者の皆さんに知ってほしい楽しい道がたくさんあります。今回ご紹介するのは、長崎市内の小さな歴史探訪路。国道34号を長崎市・新大工の交差点から東に折れて細い坂道を登っていくと、赤い鳥居の連なりが見えます。若宮様の参道です。ドミノのように並んだ鳥居をくぐりながら沢谷の参道を10分ほど登ると若宮稲荷神社の境内に到達。この稲荷神社、延宝元年(1673)創建で、340年の歴史を持つ由緒ある稲荷神社です。

勤王稲荷とも称され、幕末の時代には勤王たちがお参りしたと言われています。見晴らしの利く境内には、坂本龍馬の小さな銅像もありますので、龍馬と並んでちょっと休み。

こゝ若宮稲荷の秋の大祭は、長崎くちの翌週10月14、15日にあり、毎年「竹ン芸」が奉納されます。高さ10メートルに立てられた2本の青竹の上で、白装束に面をつけた一人の白狐がお囃子に乗ってダイナミックな演技を披露します。ゆらゆらと揺れる竹の上で繰り広げられるハラハラドキドキの空中芸は、まさに一見の価値あります。

さて境内でひと休みの後は、長崎さるくの人氣コース「龍馬が見上げた長崎の空」のルートに合流。ここからはほとんどが下り坂ですので、長崎のまちなかを見下ろしながら寺町通りまでゆっくりとさるくのがおすすすめです。

坂段が続くこの小径は「龍馬通り」として親しまれています。途中「龍馬のブーツ」を履いて、広がる景色にこれからの日本の行く末を思索したり、薩摩藩や長崎商人の援助の下に龍馬が開いた日本で最初の商社と言われる「亀山社中」跡に整備された記念館に立ち寄るなど、龍馬や志士たちの足跡を訪ねながらの散歩は、きっと新しい一歩を踏み出す勇氣と元気をもらったような、爽やかなひと時になること請け合いです。



プロフィール  
椎木 恭二 (しいのき・きょうじ)  
長崎県長崎市在住。  
道守長崎会員。

福岡



道守くるめネットワーク 会長 原口 幸吉

明治通り除草ボランティアに  
200名が結集！

私たちの暮らす久留米市は、福岡県南部に位置する人口約30万人の中核都市です。もともとボランティア活動が盛んな地域であり、ボランティア同士の情報交換や交流を深めることを目的に、平成28年2月に「道守くるめネットワーク」が発足しました。



平成28年7月には「水の祭典くるめまつり」前に、会場となる明治通り（一般国道209号、264号）をきれいにしようと、200名を超えるボランティアの皆さんと一緒に除草・清掃をおこないました（Ⅱ写真）。最高気温が35度を超える暑い日でしたが、汗を流しながらの2時間の作業で、美しい道路になりました。

熊本



松橋ポトスの会 西岡ミチ子

早朝から花壇の管理と清掃

松橋ポトスの会は、結成以来16回目の定期総会を9月に迎えました。会員は、農業従事者とサラリーマン家庭の女性十五名の集まりです。日常的には、地域が少しでも元気になるようにと多くのイベントに積極的に関わり、環境美化、難病支援、ボランティア活動等を続けています。

道守花壇の管理も大切な事業として、長年取り組んできました。私たちの花壇は片側二車線の国道3号線沿い、いくつも分岐する交差点近くで、大型車が行き交う交通量の多い場所にあります。季節に合わせて花の植え替え、草取り作業と年十回位の作業をしています（Ⅱ写真）。清掃活動にも心がけています。また、作業後におやつを食べながら雑談し、親睦を深めることも会員の楽しみの一つです。

道守の活動は、誰のためでもない、私たち自身のライフワークになっています。今後も、私たちのささやかな活動が、行き交う人々の目を楽しませ、心のゆとりを感じてもらえるようにと願いながら、今後も続けていきたいと思っています。



松橋ポトスの会、集合写真



花の植え替え作業

佐賀



道守佐賀会議

「万人ランナー」さが桜マラソン」を  
掃除で応援

佐賀では「万人が走る「さが桜マラソン」が毎年開催されています。3年ほど前より、NPOグリーンバードが、ランナーの方々に気持ちよく走ってもらうために、大会前日に応援掃除（Ⅱ写真）をさせていただきました。このことを知り、道守佐賀会議として、一緒に掃除で桜マラソンを応援しようと計画し、今年の4月、共同主催でコースの主要な3箇所を掃除しました。



清掃後、さわやかに集合写真

学生さん達も多く参加していただき、一段とキレイになり、ランナーの方々も気持ちよく走っていただけたのではないかと思いますし、コース沿いには沢山の応援の方もいらつしやりましたので、道守体験として取り組んだ成果が得られたと思います。これを機に、道守体験事業として、今後も取り組んで行くことにしました。

大分



大分銀行 地域創造部社会貢献グループ

全店一斉、早朝ボランティア清掃

この活動は平成17年4月に、継続的なボランティア清掃」を目的として、本店に勤務する役員の自主参加による「早朝清掃活動（Ⅱ写真）から始まりました。大分県の「ごみゼロおいた作戦」や大分市の「日本一きれいなまちづくり運動」の推進もあり、徐々に参加規模が広がり、現在は、毎月第二火曜日を「全店一斉早朝ボランティア清掃日」と定め清掃活動を行っています。活動拠点は各営業店の店舗周辺で、営業前の30分程度「ゴミ拾い」を行っています。

この活動が行員一人ひとりの「地域への貢献の心と感謝の気持ち」、「みんなの道を守る」という意識付けになり、その思いは環境保護に繋がっていくものと思います。またこの活動が地域に根付くことで、町内の方々の挨拶などコミュニケーションの場が広がっていくのも効果の一つだと考えております。



早朝ボランティア清掃

長崎



佐世保地区世話人 天島道夫

道守長崎会議  
「佐世保地区交流会」開催

道守長崎会議佐世保地区では、現在21団体が活動されています。平成27年度は、延べ約1100人のメンバーが国道35号線及びその周辺地域の清掃・美化活動を行いました。平成28年1月29日には、長崎県内道守活動に参加されている方が集合し、「佐世保地区交流会」を開催。参加者67名で、佐世保市立潮見小学校の活動報告を生徒の皆さんにして頂きました。潮見小学校の先生・生徒さんで花の苗を育て、道守会議会員企業が国道35号線歩道花壇に植樹作業、指導を行い、潮見小学校区町内連絡会が散水等を行う事例発表がありました。小学校・道守会議参加企業・町内会連携によるすばらしい道守活動で、長く活動を継続されている所がすばらしいと思います。4月24日には、西九州道相浦中里I.C.そばに佐世保市初、道の駅「させぼつくす99」がオープンしました。今後、日本風景街道「ながさきサンセットロード」と道の駅と連携しながら道守活動を行って行きたいと思っております。



クローバーロード清掃隊



活動報告をする潮見小学校の生徒達

宮崎



株式会社 松澤組(門川道守隊)

里帰り客をもてなす「道守活動」

私たちは毎年帰省が見込まれる5月、8月、10月、12月の大型連休前に門川町内に縦断する国道10号歩道の清掃を中心に活動を続けて9年になります。里帰りをした帰省客へのおもてなしとして、季節の花を楽しんでいただこと花の植栽や、旧国道沿いには散歩の途中に立ち止まって景色を楽しんでもらおうと再利用の木材で憩いの場所の設置も行いました。都会から帰省した方々が故郷に帰ってきて心休まる場所であってほしい、そんな願いを込めて社員一同汗を流しています。

またこの8月の活動では、炎天下の中、初めて小学生が2名参加（Ⅱ写真）してくれました。「思ったよりも暑くて大変だったけど、道路のお掃除と一緒にやってみたら」と感想を話してくれました。そうした未来を担う子供たちの言葉に励まされ、より良く道を守る活動、日頃使っている道路の大切さを再認識しながら、これからも活動の輪を少しずつ拡げて行きたいと思っております。



「頑張った賞」賞状をもらいました



門川道守隊



花壇を彩るひまわり



アカウミガメの生息地、黒津崎海岸(杵築市)



杵築の伝統芸能を継承する「きつき衆楽観」(杵築市)



別大国道を空から(大分市)



大分臨海工業地帯(大分市)―夜景が美しい

隣の国東市は、ウミガメが産卵するほどきれいな黒津崎海岸、松林と白い砂浜の散策が心を洗う。国東市は六郷満山の山岳寺院への登り口でもある。紅葉の両子寺、文殊仙寺、岩戸寺など山岳仏教に触れることが出来る。健脚の人は行者の「峰入り」を一部織り込んだトレッキングコースも用意されている。またケベス祭りや修正鬼会など奇祭も見ものの一つ、無病息災を願う訪れる人が多い。

●**花の岬へ**  
半島ドライブの若い人が訪れる花の岬「長崎鼻」は豊後高田市。春は

語りはもはや別府の名物の一つとなっている。

●**和服姿が似合う城下町**  
詳しい別府案内は別の機会に平野芳弘さんをお願いすると、神仏混合、六郷満山の国東半島の海辺の道へ。別府を抜けること、城下カレイで有名な日出町へ。日出城二の丸に観光案内所がある。日本一の大ソテツや雪舟庭園がある松屋寺から特殊潜航艇「回天」基地まで、見どころは多い。しかし、城下町の雰囲気は杵築が一番、江戸時代にタイムトリップ出来る。北台と南台に分かれる武家屋敷群、二つの高台を繋ぐ酢屋と塩屋の坂、その間の商人街は映画のロケ地にもしばしば使われる。和服姿の女性が良く似合う街だ。

●**進取の精神**  
大分市街へ。夜景が人気の鶴崎臨海工業地帯、その鶴崎はかつては戦国武将・加藤清正が拓いた豊後街道の終着の港町に茶屋を建て、ここから、畿内・江戸へ瀬戸内海を海路で向かった。今は大分鶴崎高校になってしまったが、そこには、坂本竜馬と勝海舟の銅像が立っている。長崎に向かう途中、道々、新時代を切り開く志を語り合ったのだろう。

大分人には進取の精神がある。元祖

●**美味!、関アジ、関さば**  
豊後水道の向こう四国に突出した佐賀関。その先端の関崎はまるで矢じりのように三角形のどがって、白い灯台がある。関崎海星館から眺めると青い海、豊予海峡、四国からも佐田岬が握手を求めて手を差し伸べている。絶景だ。

降りて、崖下の海辺の細い道を歩くと、岩の上に森繁久弥さんの歌碑を見つけた。別府の友人に誘われて釣りに来た折の短歌。それほど、この海峡の魚は魅力的だ。豊後水道の潮の速さが、また餌の豊かさが、美味を創る。

関アジ、関さば。一本釣りで丁寧に吊り上げ、腕の立つ料理人が熟成の間を回って、包丁を入れた刺身。その味は、絶品。先日、惜しくも亡くなった平松大分県知事に御馳走になったことがある。それは、もう。



### 体の保養、タイムトリップから心の旅まで 山と海、目に優しく、美味の数々

2000万本の菜の花、夏は120万分のヒマワリが咲き誇る。ピートルズのジョンレノンの妻・オノヨーコさんの作品も。中高年には「昭和の町」が人気。昭和三〇年代の商店街のボンネットバスが走り、駄菓子屋さんからアイスクリームまで、一軒一軒の店が年配者には「里帰り」気分になれる商店街だ。足を延ばして、富貴寺(国宝)や真木大堂、熊野磨崖仏、田染荘も訪れたい。

目の保養には山と海、味は関アジ、関さば、心身の保養には勿論、温泉。歴史の旅は昭和(豊後高田)から維新(鶴崎、江戸(杵築)、戦国(大分)、遠く室町時代(日出)。心の旅は六郷満山、とにかくさまざまな旅が楽しめる。味わえるのが、別府湾岸・国東半島海べの道だ。(久保平)

## 風景街道 別府湾岸・国東半島 海への道

●**おんせん県の泉都**  
大分「別府への海辺の道(国道10号)」は、別大国道。6車線に自転車道、歩道が幅広くとられ、別大マラソンのコースでもある。猿で有名な高崎山、人工島・人工海浜の田の浦ビーチ、水族館のうみたまご等リゾート施設が並び、別府湾沿いをウォーキングしながらの別府湾の眺望は素晴らしい。

別府は「おんせん県・大分」泉都。鉄輪には、白く湯煙が幾筋も上がる温泉景観は国の重要文化景観、大分道・別府SAや近くの十字展望台からの夜景は日本夜景100選、眼下の別府湾、それを取り囲むように円を描く街や車の光のラインは一見の価値あり。

●**壺八さんが行く**  
街に降りて、平野芳弘さんを訪ねた。別府を知り尽くした案内人。古い温泉・竹瓦温泉近くに資料館を公開している。館内は、と言っても狭い部屋に古今の別府資料が所せましと積上げられている。天下をひそかに夢見と言われる黒田官兵衛の石垣坂の決戦から、「山は富士、海は瀬戸内、温泉は別府」のキャッチフレーズで別府を「全国区」にした油屋壺八まで、名調子、且つ詳細な

花の岬、長崎鼻(豊後高田市)



櫛来社のケベス祭り(国東市)



二の丸館前大手通り(日出町)



鉄輪の湯けむりと別府湾





ソウル駅高架が「歩く道」として再生へ「ソウル駅7017プロジェクト」

1970年建設の高架(延長:939m)を撤去せず、市民が歩く道として再生し、ソウル駅一帯を高付加価値創出の拠点にする計画だ。そのため、同市は2016年1月に国際デザインコンペを実施し、オランダ人のヴィニー・マース氏の「ソウル樹木園」を選定した。ソウル駅高架を、空中庭園の一本の木とイメージさせ、樹木をライトアップし、それを枝として表現するコンセプトで、ソウル駅を中心に西と東側を17の歩行者優先道路で繋げる。この事業が完成する2017年4月からは、ソウル駅高架から徒歩で、東側の観光地である南大門(ナムデムン)市場や明洞(ミョンドン)、Nソウルタワーのある南山(ナムサン)にアクセスできる。一方、ソウル駅高架の閉鎖による課題も存在し、例えば、周辺の交通問題を改善するため、同市は周辺道路の車路拡大、時間帯による交差点の信号調整、交通案内のための施設や人員を配置し、その影響を最低限抑える方針である。



ソウル駅7017プロジェクト(イメージ)

韓国の江原道春川(チュンチョン)で生まれた私は、父親の仕事で2歳からソウルに移り、来福する前までの約24年間をそこで暮らした。今振り返ってみると、父と市内を廻る時、ソウル駅高架では多くの乗用車が渋滞し、満員バスが黒い煙を出しながら走行する様子が脳裏に浮かぶ。地方から上京した人から見れば、当時のソウル駅の高架は高度経済成長の象徴的な構造物であり、そこを毎日利用してきた市民にとっては思い出に残る道の一つであろう。12年間の福岡での生活の中、出張等で何回かソウルを訪れたが、韓国人でありながらもソウル市内の高架の変貌ぶりには驚きを隠せない。人口1000万人の大都市として、持続的成長を見通すための高架をめぐる大胆な都心再生事業が推進されているのだ。その背景には、自動車保有台数307万台で市民1人あたり3.2台という自動車中



市民に開放されたソウル駅高架



ソウル駅(左下)とソウル駅高架

「清溪川復元事業」と「ソウル駅7017事業」は、同じ



プロフィール 柳 基憲 公益財団法人福岡アジア都市研究所 研究主査、CP (Creative Interchange Platform) 共同代表、人間環境学博士。

高架をめぐる事業であるが、あえて区別してみると、前者は高架の撤去後、自然生態を復元し過去に遡るという意味の事業で、後者は老朽化した高架の再利用を通じた未来を拓くという意味の事業であると言える。

熊本地震「暮らしの道 復旧へ全力」

手島健司 (熊本県土木部長)

大きな爪痕を残した熊本地震から5か月、連日の復旧工事。本当にご苦労様です。国道57号や阿蘇大橋の落橋などは新聞、テレビの報道がありましたが、それ以外の県道、市町村道など暮らしに密着した道路、橋の被害状況は。

手島部長 熊本地震では前震、本震の2度にわたる地震に加え、その後の大雨などで大きな被害が出ました。国道を除いて、地震によって県市町村道の2066ヶ所、橋169ヶ所、地震後の大雨で道路1253ヶ所、橋7ヶ所、損害額は道路約670億円、橋約408億円にも上りました。地震のダブルパンチに加え、大雨の被害と重なりました。

具体的な被害内容は? 手島部長 道路路面の陥没や亀裂、それに落橋は12か所でしたが、橋の前後の道路が崩壊し、通行不能となりました。県道熊本高森線など俵山トンネルとその前後の橋梁群の被害のような落橋は意外と少なく、橋と道路のつなぎ目部分の被害が殆どでした。

阪神淡路大震災後、新耐震基準による補強は行われていたのですか。 手島部長 熊本県下の橋についてはすべて完了していました。それが落橋防止につながったと思います。しかし、今回のような断層上の地震は想定外で、今後の防災対策では十分考えなければなりません。

復旧はどの程度進んでいるのでしょうか。 手島部長 全面通行止めが111ヶ所に及びましたが、5か月たった現在、なお、22か所で全面通行止めが続いています。その多くが山崩れによる道路被害に



よるもので、落下した巨石や、斜面に落石の危険が残っているため、山沿いの道路では未だに大型車両が通れないところが多くあります。地震後の雨で危険度もさらに高まっています。

地方道は日常の暮らしに密着しています。住民の苦勞が続いていますね。 手島部長 交通止めで通学路が通行不能となり、転校を強いられました。大きく迂回するため通学に長時間かかりたり、また日常の暮らしの面でも住民の皆さんの苦勞は続いています。1日も早い復旧に全力を挙げています。



住宅が道路側に倒壊したり、暮らしに近い道ゆえに発生した道路被害もありますね。 手島部長 震源に近い益城町などでは、道路両側の家屋が道路に倒れ、通れなくなった例が多くありました。しかし、個人財産ですから、所有者の了解がなければ撤去することができません。今後の災害対応の中で、復旧を迅速に進めたいです。

国や県、そして市町村の連携はうまくいっているのでしょうか。 手島部長 国は緊急事態に対してテックフォースの派遣など迅速な対応をしてくれ、大変助かりました。しかし、復旧工事は長期にわたりますので、市町村は職員不足に悩んでいます。県としても技術職員の少ない市町村への支援は重要な課題だと認識しており、被害の大きかった益城町、西原村、南阿蘇村には直後から技術職員を派遣し、支援を行っています。

合併や財政難から、通常でさえ人員不足に悩んでいたところに、災害時に生じる多岐にわたる業務が発生しているため、技術職員の少ない市町村は大変苦しい状態ですが、他県からの応援もいた



手島健司(てしまけんじ) 昭和55年3月九州大学工学部卒業 昭和55年4月熊本県採用 平成22年4月新幹線 熊本駅周辺整備事務所長 平成23年4月土木部河川港湾局 港湾課長 平成24年4月土木部道路部 局道路整備課長 平成26年4月土木部道路部 路都市局長 平成28年4月土木部長

# 連携・共同で活動推進

## 道路協力団体制度の創設

九州地方整備局では、道路の清掃・美化、草花や樹木の育成・手入れなど「道」を通じて様々な活動を展開している。「道守」の皆さんと連携・共同して活動を推進しているところ。また日本風景街道を進める上で、九州の道守活動は、大きな力となっています。日本風景街道では九州で現在14ルートが活動中。地域の自主性に基づく多様な主体による協働に基づく「美しい国土景観の形成」「地域活性化」「観光振興」等の取組みを、道を舞台として進められています。

今後さらなる道路利用者の視点からのニーズ等に対し、きめ細やかに対応していくため、こうした活動の団体等の方々との一層の連携を図り、スムーズな活動環境を整えていくため道路協力団体制度が創設されました。

### 道路管理者が指定

民間団体等との活動と連携して道路管理の一層の充実を図る「道路協力団体制度」の創設を含む道路法の一部改正は、平成28年4月1日から施行されています。

創設されたのは、道路の清掃・美化活動などの道路空間の修景や、除草・植栽活動などを行う法人等が対象となり、道路管理者が指定する制度です。

### 道路空間の活用も

道路協力団体は、道路管理者に協力して、以下のような業務内容が規定され、道路の安全確保や利便性向上を図って頂きます。

道守や風景街道の活動団体等多くの団体に活動して頂いている、道路の清掃、花壇整備などの美化活動、修景活動を想定したのから、さらにバリアフリー化のための軽微な段差解消のための工事などを道路協力団体が実施することも想定しています。

### 【道路協力団体の活動イメージ】



### 公的活動事例



除草活動



修景活動

## 道守 人物伝

### 国会などへ提言活動も

宮崎日南生活ロード女性の会 会長 山口勝子さん

宮崎日南生活ロード女性の会 会長 山口勝子様でございます。宮崎日南生活ロード女性の会の、自らの意思に基づいて道守の重要性および必要性を考え、行動することで地域社会の発展の一翼を担うことを目的に設立しました。

高速道路の整備促進や道守活動を主に行っております。高速道路の工事現場に行き、現況の説明を聞き、意見交換や講演をしていただき、研修をし、まとめたものを東京の国会議員や国土交通省へ提言活動をします。



「道づくり」は「人づくり」を考えます。宮崎道守会議等他団体と連携しながら年2回、国道220号日南市の入口のアラマンダの植栽まわりの補植や除草、道路清掃。昨年は日南海岸国定公園60周年記念事業として、この横1500mのところにペチュニア、マリーゴールド900苗とブルービリアの5株を植え付けました。

皇太子さま御出席の第26回みどりの愛護のついでには記念植樹と国土交通大臣表彰をいただき、皇太子さまから近くでお声をいただきました。活動が続けてきて良かった一層ガンパロウと思いました。

宮崎県南部地域は、風光明媚な海や山、豊富な農林水産資源を活用した食材が豊かな地域です。日南に行くと良かった、住んでみたいと思う人が一人でも多くなるように「道」を大切に利用し、「道」を皆様に一緒に守っていきましょ！

## 道守たちのトピックス

### 道守団体、国土交通大臣賞を 続々受賞！

前号で国土交通大臣賞の手づくり郷土賞を受賞された2つの団体を紹介しましたが、他の分野でも多くの道守団体が受賞されていました。国土交通大臣賞受賞をきっかけに周りの人たちに活動内容を知っていただくことで仲間が増え、活動の励みになり、まちづくりに貢献でき、まさに地域創生の一助を担うこととなるでしょう。

平成27年度及び28年度に受賞された団体をご紹介します。

- 第26回「みどりの愛護」功労者 受賞団体
  - ・みやざきフラワールード・ネットワーク (宮崎県宮崎市)
  - ・ひかり児童クラブ (宮崎県宮崎市)
  - ・鶴戸山をかつとしやる協議会 (宮崎県日南市)
- 第27回「みどりの愛護」功労者 受賞団体
  - ・宮崎日南生活ロード女性の会 (宮崎県日南市)
  - ・門司港レトロの花の会 (福岡県北九州市)
  - ・名島校区「花の架け橋」実行委員会 (長崎県雲仙市)
  - ・小浜温泉57 (福岡県豊前市)
- 平成28年度道路ふれあい月間
  - 道路愛護団体表彰
    - ・北九州市道路サポートの会 (福岡県北九州市)
    - ・よいいコスモス街道実行委員会 (福岡県うきは市)
  - ・竹田市立蒼生小学校 (大分県竹田市)

他に受賞されている団体があれば、事務局までお申し出いただき、次回以降ご紹介いたします。

今後はお互いに情報提供をしながら、たくさんの方々の道守団体が表彰されることを願っています。

### 道守通信 編集後記

○今年のまちづくり大会(鹿児島)のテーマの一つは行政と市民の協働です。巻頭インタビューに、北九州市の北橋市長が登場しました。北九州市民のボランティア、社会貢献の意識は高い。「その原点はやはり公害の克服にある」と市長。同市は八幡製鐵で発展し、四大工業地帯となり、しかも、工場が集中する地域には住宅地も隣接していた。そのため、公害が深刻だった。「その時に婦人会が、こども達の健康のために、立ち上がった。それが行政や企業や大学を動かしたという歴史がある。女性達の健気な活動が、街の大きな悩みを乗り越える原動力となる、誇るべき歴史がある」と、それを通じて「みんなで連携して、地域でやる」というネットワークが根付いている。

○北橋市長は「北九州市は課題先進都市」と笑う。アメリカはCCRCCという、「ふるさとに帰ってひと花させよう」という人々をバックアップしている。今、アメリカ社会はアクティブシニアの地方移住を進めており、「私ども、それを頑張ってみよう。ボランティア、私どもも人を元気にする。仲間ができる。非常にさわやかなコミュニケーションになる。「アクティブシニアの方々が社会貢献し、社会参加がしやすい環境を作り、情報提供を行うことが大事だと考えている」。

○「地方創生」の中で、道路の重要性を市長は強調。特に、東九州自動車道の開通が北九州市を活性化すると期待している。「昔は別府に行くのに魔の国道10号線が4時間かかった。東九州自動車道ができたのは北九州にとって大きい。沿線の農業や色んな産業、雇用にも良い影響を及ぼし、観光にも有機的に結びつく。地方に魅力ある仕事を創出できると。鹿児島も、南九州道西回りの建設が進んでいる。高速道路を地域振興にどう活用するか、道守活動に合わせて風景街道10年を前に、大会でも議論を深めたい。

### 収益活動事例



レンタサイクル



オープンカフェ

### 修景や賑わいづくりに目指す

道路協力団体の指定にあたっては、前述の業務のうち、特に期待する業務と対象となる区間を示し公募を行います。現在、道路協力団体の指定に向けた準備を進めているところです。

今後、道路協力団体を指定し、連携を通じて修景活動や賑わいづくりに関する取組みを充実・活性化し、地域の魅力向上につながるべく目指していくことを目指し、取り組んでいきます。

(詳しい問合せは、九州地方整備局道路計画第二課へお願いします。)

とを想定しています。これにより、道路のさまざまな課題解消に向けた、利用者目線の活動を期待しています。

## ～道守通信 Vol.31秋号へ協賛いただいた皆様(団体・企業)～

※順不同

九州建設コンサルタント(株)	(株)大分銀行	(有)クリエイト
(一社)大分県建設業協会	由布院 玉の湯	大分交通(株)

## ～道守を支援いただいている賛助会員の皆様(団体・企業)～

※順不同

(一社)九州地域づくり協会	九州国道協会	九州電力(株)
(一社)プレストレストコンクリート建設業協会 九州支部	(一社)日本道路建設業協会 九州支部	福岡市道路利用者会議
(一社)福岡県建設業協会	福岡県道路協会	(株)大林組 九州支店
(一社)佐賀県建設業協会	佐賀県道路愛護協会	鹿島建設(株) 九州支店
(一社)長崎県建設業協会	長崎県道路協会	建設サービス(株)
(一社)熊本県建設業協会	熊本県道路利用者協会	清水建設(株) 九州支店
(一社)大分県建設業協会	大分県土木建築協会	大成建設(株) 九州支店
(一社)宮崎県建設業協会	大分県建設業協会 大分支部	長幸建設(株)
(一社)鹿児島県建設業協会	宮崎県道路利用者協議会	(株)高山組
みちをを考える会	鹿児島県道路利用者協議会	社会福祉法人 宇水会 特別養護老人ホーム宇水園
朝日開発コンサルタント(株)	朝日工業株式会社	(株)熊谷組 九州支店
(株)アップス	(株)安部日鋼工業 九州支店	(株)アジア技術コンサルタント
鳥城塗装工業(株)	(株)エスイー 九州支店	(株)安藤・間 九州支店
NTTインフラネット(株) 熊本支店	NTTインフラネット(株) 鹿児島支店	NTTインフラネット(株) 福岡支店
(株)大島造船所 九州営業所	大分交通(株)	大分県道路舗装協会
扇精光コンサルタンツ(株)	(株)オリエンタルコンサルタンツ 九州支店	鹿児島土木設計(株)
(株)荻島組	川田工業(株) 九州営業所	九建設計(株)
上内電気(株)	九州地区道路利用者会議	九州みちの会
(株)九州開発エンジニアリング	九州建設コンサルタント(株)	(株)ケー・シー・エス 九州支社
(株)建設環境研究所 九州支社	(株)橋梁コンサルタント 福岡支社	(株)建設技術コンサルタンツ
(株)建設技術センター	(株)建設技術研究所 九州支社	コーアツ工業(株)
(株)駒井ハルテック 九州営業所	(一社)建設コンサルタンツ協会 九州支部	(株)サタコンサルタンツ
三州技術コンサルタント(株)	(株)西海建設	新成建設(株)
新日本技研(株) 福岡支店	昭和コンクリート工業(株) 九州支店	(株)西部技建コンサルタント
(株)センコー企画	(株)新日本技術コンサルタント	そうじの会(多久の未来を創る会)
農事組合法人そよかぜ館(「道の駅大和」)	(株)総合技術コンサルタント 九州支店	大福コンサルタント(株)
太陽技術コンサルタント(株)	大日本コンサルタント(株) 九州支社	宅島建設(株)
瀧上工業(株)	(株)玉の湯	(株)地域科学研究所
中央復建コンサルタンツ(株)	(株)長大 福岡支社	通信土木コンサルタント(株) 九州支店
(株)東亜コンサルタント	東急建設(株) 九州支店	(株)東京建設コンサルタント 九州支社
戸田建設(株) 九州支店	(株)友岡組	(株)名村造船所 福岡営業所
南生建設(株)	西日本技術開発(株)	西日本新聞エリアセンター連合会
西日本コントラクト(株)	西日本コンサルタント株式会社	日鉄鉱コンサルタント(株) 福岡支店
(一財)日本造園修景協会 大分県支部	(株)野村建設	葉隠会道守部会
(株)萩原技研	範多機械(株) 福岡営業所	(株)日高時計本店
(株)ピーエス三菱	(株)福山コンサルタント	(株)富士設計
(株)富士ピー・エス	(株)ぶぜん街づくり会社(「道の駅」豊前おこしかけ)	復建調査設計(株) 九州支社
松本技術コンサルタント(株)	前田建設工業(株) 九州支店	(株)丸福建設
(株)みともコンサルタント	(株)水野建設コンサルタント	宮崎空港ビル(株)
宮地エンジニアリング(株) 福岡営業所	(株)宮崎産業開発	八千代エンジニアリング(株) 九州支店
(株)ヤマックス	(株)ヤマウ	(株)ワンステップ
協同エンジニアリング(株)	谷川建設工業(株)	個人会員69名



発行 「道守九州会議」

広報誌「道守通信」秋号  
平成28年11月●日発行

### 「道守九州会議」事務局

■道守支援室(九州地方整備局道路管理課内)

〒812-0013 福岡市博多区博多駅前2丁目10番7号  
TEL.092-471-6331(代) FAX.092-476-3481

■(一社)九州建設技術管理協会内

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目19番3号  
TEL.092-471-0189 FAX.092-414-0767

道守HP <http://www.qsr.mlit.go.jp/n-michi/michimori/> e-mail [michimori@qsr.mlit.go.jp](mailto:michimori@qsr.mlit.go.jp)